日常診療を変えるエビデンスを皆様へ。

2024年2月 vol. 1

日頃より「今日の臨床サポート」をご愛顧いただき、ありがとうございます。 2023年12月に改訂された臨床レビューの中から、日常診療に大きく影響を与えるようなエビデンスを ご紹介します。

アジソン病、副腎クリーゼ

- ・典型的な原発性副腎皮質機能低下症に加えて、低ゴナドトロピン性性腺機能 低下症を合併した症例について追記した。
 - ▶ アジソン病は、狭義には自己免疫や結核などの後天的成因によって発症 するものを指すが、先天的要因による原発性副腎皮質機能低下症も広義に は含まれる。先天異常であっても発症年齢が遅く、初見では先天異常によ るものか後天性のものか判別できないものもある。
 - ▶本症は、小児期発症の原発性副腎皮質機能低下症であるが、10代後半に なっても第2次性徴の発来がないことから、X連鎖性先天性副腎低形成症 (DAX-1 異常症) に気付かれた症例である。原発性副腎皮質機能低下症 に遭遇した際には性腺系の異常の有無についても注意深く、診察すること が重要である。

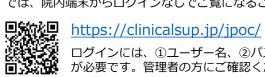
周術期マネジメント/ 周術期内科コンサルト

- ・最新の情報に基づいてコンテンツを見直し、改訂を行った。
- ・依然として後を絶たないCOVID-19患者の周術期リスク評価および管理に関す る注意点を追記した。COVID-19の発症時期、重症度、合併症などに加えて、罹 患後の身体機能評価などの情報収集が不可欠である。
 - ▶ 英国のデータによると、手術を受けたCOVID-19患者の術後30日死亡率 は、非COVID-19患者と比較して有意に高くその差は感染後7週間まで続 いていた (COVIDSurg Collaborative, Anaesthesia, 2021 Jun;76(6):748-758.)。米国麻酔科学会(ASA)および麻酔患者安全財 団(APSF)による共同声明では、COVID-19罹患後は最低2週間、可能で あれば、患者のリスクおよび手術のリスクなどを評価したうえで7週間、 待機的手術を延期することが推奨されている。また、COVID-19患者では 術後も深部静脈血栓症のリスクが高く(COVIDSurg Collaborative. Anaesthesia. 2022 Jan;77(1):28-39.) 、心筋炎を合併している場合や、 頻度が高いCOVID-19罹患後症状(後遺症)なども予後に影響を与えるこ とが予測されている (Guzik TJ, et al. Cardiovasc Res. 2020 Aug 1;116(10):1666-1687. Carfi A, et al. JAMA. 2020 Aug 11:324(6):603-605.)
- ・がん患者の周術期リスク評価及び管理に関する注意点を追記した。がん患者 に特有の問題を把握しておくことが重要である。
 - ▶ 欧州心臓学会のガイドライン(2022)では、がんそのものによるリス クだけではなく、がんの治療によるリスクも把握しておく必要があること を強調している(Halvorsen S, et al. Eur Heart J. 2022 Oct 14;43(39):3826-3924.)。例えば、がん患者では血栓症のリスクが高 まるため、抗凝固治療は通常よりも長期間行う、あるいは低分子へパリン を選択する方が良い場合などがある。一方で、抗がん剤の心筋毒性による 心筋症や、放射線治療による若年層の冠動脈疾患、あるいは術後心房細動 が増加するリスクなどもある ((Halvorsen S, et al. Eur Heart J. 2022) Oct 14;43(39):3826-3924.) 。
- ・抗血小板薬二剤併用療法(DAPT)や直接作用型経口抗凝固薬(DOAC)の使 用拡大により抗血栓治療の全体像が大きく変化したため、周術期の抗血栓治療 について加筆および修正した。

『今日の臨床サポート』とは

エビデンスに基づく日本語によるリファレンスツールです。 約1,430の疾患・症状概要、診断・治療方針などをご覧になることができます。 ジェネリックを含む薬剤情報、疾患・症状の患者向け説明資料、インターネット版 ではPubMedへのリンクもご用意しています。

QRコードまたはURLからアクセスできます。 イントラ版をご契約の施設 · では、院内端末からログインなしでご覧になることができます。



ログインには、①ユーザー名、②パスワード、③施設コード が必要です。管理者の方にご確認ください。

